

第5回 ちむぐるプラン住民会議

平成30年8月16日(木)

【テーマ：福祉教育とボランティア推進について】

1. あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・こども課 前城課長
2. 福祉教育推進基本方針について
・・・・・・・・・・・・・・・・南風原町社会福祉協議会(田場さん)
3. 南風原町地域学校協働活動推進事業について
・・・・・・・・・・・・・・・・地域コーディネーター(儀間さん)
4. 親のまなびあいプログラムについて
・・・・・・・・・・・・・・・・家庭教育支援アドバイザー(金城さん)
5. 町ボランティアセンターについて
・・・・・・・・・・・・・・・・南風原町社会福祉協議会(美里さん、高吉さん)
6. ボランティアセンター運営委員会及びボランティアプラットホームについて
・・・・・・・・・・・・・・・・地域ボランティア(仲地さん、赤嶺さん)

【主な感想と意見】

- ①社協、教育委員会(町、県)、各々が福祉教育にいろいろな形で実践し、関わっている事が解りました。ボランティアを横に繋げるプラットホームはさらにお互いが情報発信・共有し活動の輪が深まったり、新たな人材発掘、またボランティアを必要としている所に繋げることができると思うので、とても大きな期待がもてるものになると感じました。
- ②地域で様々なボランティアの仕組みがある事を知りました。1つのボランティアが地域の繋がりに関わっているのですね。町のボランティア情報をもっと多くの町民に伝える方法はないでしょうか。
- ③「地域にいる私ができることをやっていく」という言葉に感動した。私もそのように生きたいです。
- ④人と人のつながりの大切さを感じました。ありがとうございます。
- ⑤ボランティアはお互い Win Win の関係が大事。やって良かったと感じること。学校応援隊のボランティアさんは、やりがいを持って活動しているように感じました。ボランティアプラットホームは、気張らずにコーヒーを飲みながらゆんたく。ボランティア団体・個人がつながることで、新たな強みが生まれそうです。
- ⑥ボランティア実践者の思いを聞くことができるととても良かったです。それぞれが思いをもち、活動されていることを知ることができたので、今後もこうした“声”を聞く機会を持ちたいです。
- ⑦子どもたちに福祉の心を育てるため社協も役場もそれぞれが取り組んでいることが解りました。福祉教育を育むためにはプログラムの内容、取り組みの打ち合わせなど、たくさんの時間をかけて作られている事を知りました。南風原町は凄いいと思います。
- ⑧ボランティアとは何か？と子どもに聞かれることがある。大人として何と答えるかは

人によって違うと思うが、そもそも大人としてどんなボランティアの経験があるかによって子どもへの答えが変わると思う。また「福祉」とはそもそも何なのかを考えるきっかけにもなった。

